

外国語活動 英語「平成30年度の重点」授業構想シート

外国語活動
英語

本県の課題

- ◆外国語で「できること」が実感でき、「伝えたい」気持ちにつながるコミュニケーション活動が展開されていない場面がある。
- ◆英語を得意とする生徒と、不得意とする生徒の二極化がみられる。

➡

目指す子供の姿

- 外国語を通して主体的に人と関わったり、人と関わることの大切さを感じとったりしている。
- 英語の学習に対して意欲的に取り組むとともに、コミュニケーションの手段として英語を活用することができる。

①「コミュニケーション活動」の充実

- ◇コミュニケーションの目的や場面、状況などの設定を工夫し、児童生徒が意欲的に取り組もうとするコミュニケーション活動の充実を目指す。
- ◇中学校では文法事項をコミュニケーションを支えるものとして捉え、実際のコミュニケーションの場面で活用することを通して定着を図る。

②「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の総合的な育成

- ◇児童生徒が「できること」を実感できるよう、小中高を通じて一貫したCAN-DO型学習到達目標を設定し、成功体験を積み重ねていくことができる言語活動や評価の工夫をする。
- ◇中学校では語彙・文法事項等の確実な定着を図るとともに、教科書の内容等を効果的に扱い、4技能のバランスのとれた育成を図る。

月 日 ()	学校	年 組	授業者	
単元名				

1 「コミュニケーション活動」を充実させる。

①設定の工夫 (小・中)

- コミュニケーションの目的や場面、状況等
- 〔 〕
- 児童生徒が意欲的に取り組もうとするコミュニケーション活動
- 〔 〕

②文法事項定着のための工夫 (中)

- 〔 〕

2 「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を総合的に育成する。

①語彙・文法事項等を定着させるための工夫(中)

- 〔 〕

②4技能をバランスよく育成するための工夫 (中)

- 〔 〕

③成功体験を積み重ねる言語活動や評価の工夫(小・中)

- 〔 〕

外国語活動 英語「平成30年度の重点」授業改善シート

外国語活動
英語

本県の課題

- ◆外国語で「できること」が実感でき、「伝えたい」気持ちにつながるコミュニケーション活動が展開されていない場面がある。
- ◆英語を得意とする生徒と、不得意とする生徒の二極化がみられる。

➔

目指す子供の姿

- 外国語を通して主体的に人と関わったり、人と関わることの大切さを感じとったりしている。
- 英語の学習に対して意欲的に取り組むとともに、コミュニケーションの手段として英語を活用することができる。

①「コミュニケーション活動」の充実

- ◇コミュニケーションの目的や場面、状況などの設定を工夫し、児童生徒が意欲的に取り組もうとするコミュニケーション活動の充実を目指す。
- ◇中学校では文法事項をコミュニケーションを支えるものとして捉え、実際のコミュニケーションの場面で活用することを通して定着を図る。

②「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の総合的な育成

- ◇児童生徒が「できること」を実感できるよう、小中高を通じて一貫したCAN-DO型学習到達目標を設定し、成功体験を積み重ねていくことができる言語活動や評価の工夫をする。
- ◇中学校では語彙・文法事項等の確実な定着を図るとともに、教科書の内容等を効果的に扱い、4技能のバランスのとれた育成を図る。

月 日 ()	学校	年 組	授業者	
単元名			記入者	

1 「コミュニケーション活動」の充実	
①コミュニケーションの目的や場面、状況等の設定を工夫し、児童生徒が意欲的に取り組もうとするコミュニケーション活動となっている。(小・中)	4 - 3 - 2 - 1
②文法事項を、実際のコミュニケーションの場面で活用することを通して定着を図っている。(中)	4 - 3 - 2 - 1
2 「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の総合的な育成	
①語彙・文法事項等の確実な定着を図っている。(中)	4 - 3 - 2 - 1
②教科書の内容等を効果的に扱い、技能統合型の活動を工夫している。(中)	4 - 3 - 2 - 1
③年間を通して、4技能のバランスのとれた育成を図っている。(中)	4 - 3 - 2 - 1
④成功体験を積み重ねられるような言語活動や評価を行っている。(小・中)	4 - 3 - 2 - 1
[メモ]	